

令和2年度後期からの新型コロナウイルス感染症対応方針について

学生のみなさんへ

釧路校キャンパス長 浅利祐一

懸念された教育実習Ⅰ（主免実習）を無事に終了して後期を迎え、ひと月が過ぎました。前期に比べて対面授業が増え、さらに副免実習、特別支援学校実習、教育フィールド研究等の大学外で活動する機会も増えてきました。釧路校の特徴である実践的な学びの機会を通じて、大学に活気が戻りつつあり、喜ばしい限りです。

9月30日付で北海道教育大学の新型コロナウイルスへの対応方針が更新されました。これに伴い、学生の活動がスムーズに行われるよう、釧路校が定めていた「感染拡大地域から釧路へ戻ってきた場合は2週間自宅待機すること」というルールを11月2日付で廃止することにしました。

しかし、最近の北海道における新型コロナウイルスの感染状況は、第2波、第3波ともいえるような拡大の様相を見せています。釧路においても多くの感染者が報告されています。経路不明の事例もあるので、知らないうちに感染していることは誰にでも起こり得ます。

移動に伴う感染拡大のリスクは決して低いわけではありませんが、それ以上に、みなさん一人ひとりが細心の注意を払って慎重に行動することが最大の感染予防対策になると思います。日常の健康管理、マスク着用、手指消毒、3密回避等、一人ひとりの自覚的な行動・対策がより一層強く求められます。

11月からの新型コロナウイルスへの対応方針の要点をまとめますので、よく確認して対応の徹底を心がけてください。